

未来につなぐ 文化財の保存と活用

主催：前橋市教育委員会

2023年12月10日(日)

14:00～16:00 13:30開場

会場

臨江閣別館 2階大広間

(前橋市大手町三丁目15)

参加費
無料

一般100名

申し込み方法

電話またはWEB申込フォームから

TEL 027-280-6511



WEB申込フォーム

《申込期間》2023年11月22日(水)～2023年12月7日(木)

地域に残る様々な文化財を未来に繋げていくために「文化財の保存と活用」をテーマに国指定重要文化財である臨江閣でシンポジウムを開催します。大規模災害、少子高齢化による後継者問題等文化財を取り巻く環境は変化しています。これまでの文化財保護の取り組みと、文化財を保存・活用しながら未来に生かすための取組等について、事例等を交えて解説します。



PROGRAM

【開会】

14:05～14:20 (15分)

市長挨拶 山本 龍

【第1部】 基調講演

14:20～14:50 (30分)

「文化財の継承に向けて」－歴史的建造物の保存整備の現状と課題を通して－

群馬県文化財保護審議会 副会長 村田 敬一 氏

【第2部】

シンポジウム

14:55～16:00 (65分)

「未来につなぐ前橋の文化財の保存と活用」

登壇者

コーディネーター：元上毛新聞社取締役論説委員長 藤井 浩 氏

パネリスト：群馬県文化財保護審議会 副会長 村田 敬一 氏

帝京大学経済学部観光経営学科教授 小笠原 永隆 氏
(東京都観光まちづくりアドバイザー)

黒曜石体験ミュージアム学芸員 大竹 幸恵 氏
(ドキュメンタリー映画「掘る女」主演)

アドバイザー：群馬県地域創生部文化財保護課 文化財主監 桜井 美枝 氏

未来につなぐ 文化財の保存と活用

PROFILE

Coordinator



元上毛新聞社取締役
論説委員長

ふじい ひろし
藤井 浩

慶應義塾大学文学部国文学科卒業後、上毛新聞社に入社。記者として主に歴史・文化を担当。文化生活部長などを経て、2010年から7年間、論説委員長を務めた。同社の「シルクカントリー群馬キャンペーン」の企画・紙面づくりを担当。2021年から2023年まで上武大学ビジネス情報学部教授。現在、萩原朔太郎研究会幹事長、ぐんま芸術文化創造事業評価委員（座長）等として活動している。著書に『誇りについて 上野村長・黒澤丈夫の遺訓』（上毛新聞社刊）、『眠る男の記録』（同）、『名曲茶房「あすなろ」小史』（同）など。編著に『群馬文学全集第20巻 評論・随筆』（群馬県立土屋文明記念文学館刊）、『詩のまち「前橋」ものがたり』（上毛新聞社刊）がある。

Panelists



前橋工科大学客員教授
群馬県文化財保護審議会副会長

むらた けいいち
村田 敬一

三菱地所(株)退職後、群馬県立高校建築科教諭、太田工業・前橋工業高校校長、全国工業校長協会事務局次長を経て現在に至る。建造物・建築史を専門とし、前橋市文化財調査委員委員長他審議会等の委員として活躍。著書に『群馬の古建築』『シルクカントリー群馬の建造物史』（みやま文庫）、『颯爽たる群馬』（共著、煥乎堂）、『日本近代建築大全（東日本篇）』（群馬県を担当、講談社）がある。

Panelists



帝京大学経済学部
観光経営学科教授

おがさわら ながたか
小笠原 永隆

千葉大学大学院文学研究科修了。千葉県技術職員（文化財主事）として採用後、観光コンベンション課、地域づくり推進課、千葉県文書館等に配属され、文化財関連事業の他に、まちづくりに関する事業にも携わる。2018年に千葉県を退職後、現職に至る。現在は、一般社団法人日本考古学協会埋蔵文化財保護対策委員会事務長、東京都多摩市観光まちづくり交流協議会副会長等多方面で活動している。「博物館の新しい役割（観光・地域活性化）について」（『帝京大学経済学研究』第51巻第2号、帝京大学経済学会、2018年）等多数の論文を発表している。

Panelists



長和町教育委員会
黒耀石体験ミュージアム学芸員

おおたけ さちえ
大竹 幸恵

明治大学大学院文学研究科史学専攻博士前期課程修了。長門町役場職員として教育委員会に勤務。黒耀石体験ミュージアム企画・建設や史跡公園「史跡星葉峠黒耀石原産地遺跡」整備等に携わる。日本考古学協会理事、教科書委員会委員、日本考古学協会副会長を歴任、現在に至る。2000年第25回藤森栄一賞、2017年日本イコモス賞等多数受賞。著書に、『星葉』『HOSHIKUSO』（黒耀石体験ミュージアム）、『黒耀石の原産地を探る鷹山遺跡群』（新泉社）、「第5節先土器時代の茅野」『茅野市史』（上巻茅野市教育委員会）がある。

Advisor



群馬県地域創生部文化財保護課
文化財主監

さくらい みえ
桜井 美枝

大学院で考古学を専攻、1989年に群馬県に入庁。群馬県埋蔵文化財調査事業団に配属、公共開発に伴う埋蔵文化財の発掘調査・資料整理に従事。2009年に現所属（当時は教育委員会）に異動。以後、群馬県の文化財保護行政に従事。「群馬県文化財保存活用大綱（2020）」、「群馬県文化財防災ガイドライン（2022）」の策定に携わる。現在、伊勢崎市史編纂委員としても活動している。

ACCESS

臨江閣別館 2階大広間
(前橋市大手町三丁目15)

臨江閣拡大図



※駐車場は前橋公園駐車場または県庁北駐車場をご利用ください。

お問い合わせ先

前橋市教育委員会事務局文化財保護課
TEL 027-280-6511



まちづくりシンポジウム

～ 企業と地域で進めるまちづくり～

12月11日(月)

15:00～

参加費 無料

会

場：ベイシアビジネスセンター本部小ホール
前橋市亀里町 900

参加形式：

会場参加 … 予約不要

オンライン配信での参加 … 事前申込みが必要

※後日アーカイブ配信予定

オンライン配信
事前申込み

右の二次元コードへ

申込締切：12月6日(水)



会場・駐車場案内図は裏面掲載

1 企業の取組紹介 15:00～16:00

株式会社ベイシア 開発本部長

升岡 健 氏

株式会社カインズ くみまち推進部長

内山 智彦 氏

株式会社ユニクロ 前橋南インター店 店長

鍋谷 早智子 氏

イケア・ジャパン株式会社 IKEA 前橋 Market Manager (店長)

野山 和美 氏

2 パネルディスカッション 16:00～17:00

テーマ

～ 南部拠点・中心市街地・道の駅・赤城山をつなぐ
人の流れ、まちの安全を考える ～

登壇者

《ファシリテーター》

フリーアナウンサー (株式会社 MOO-FACTORY 代表取締役) 青柳 美保 氏

《パネリスト》

株式会社ベイシア 開発本部長

升岡 健 氏

株式会社カインズ くみまち推進部長

内山 智彦 氏

株式会社ユニクロ 前橋南インター店 店長

鍋谷 早智子 氏

イケア・ジャパン株式会社 IKEA 前橋
Market Manager (店長)

野山 和美 氏

下川淵地区自治会連合会 会長

久保田 邦次 氏

前橋工科大学 学術研究院 特任准教授

吉田 樹 氏

前橋市長

山本 龍





まちづくりシンポジウム

会場案内図

ベイシアビジネスセンター：前橋市亀里町 900



駐車場案内図

ベイシアビジネスセンター東側よりお入りください



無料公開シンポジウム

「データ活用で切り開く 公共交通の新境地」

定員
190名

事前
予約制



昨今の**社会のデジタル化**の流れを受け、公共交通においても**データ活用の重要性**が叫ばれています。今回は、前橋の公共交通に関する課題解決を題材に、**データが生む新たな公共交通の可能性**を考えます！交通関係者から一般市民の方まで、みんなで**新たな公共交通観**を考えませんか？

日時

2023年12月16日(土) 13:30~16:00

会場

前橋工科大学1号館151講義室
※当日オンラインでのLIVE配信はありません。

JR前橋駅北口4番のりばから
【30前橋玉村線】で1本！
バス停「前橋工科大学前」で下車。



01 基調講演

13:40~14:00

「地方都市における公共交通の再設計」

車社会の前橋ですが、公共交通を見つめ直すことにより暮らしやすい都市にすることができます。全国にはデータを活用して公共交通を見直した事例がたくさんあります。様々な事例から、公共交通の可能性について探ります。



講演者 吉田 樹 (前橋工科大学・福島大学)

02 パネルディスカッション

14:10~16:00

「データを使った前橋公共交通の提案」 前橋のデータ分析結果紹介とパネルディスカッション

◆登壇者 予定/順不同

- 山本 龍 (前橋市長)
- 吉田 樹 (前橋工科大学特任准教授 福島大学准教授)
- 佐藤 俊也 (関越交通株式会社代表取締役)
- 小又 万里 (永井運輸株式会社常務取締役)
- 奈賀由香子 (市民団体のりのり学会代表)
- 鈴木 侖 (共愛学園前橋国際大学学生)

データを活用した公共交通の今後について、前橋市長～交通事業者～市民代表、皆で意見交換を行います！

お申込み

二次元コードを読み込み **WEBから** お申し込みください。

【主催】前橋市・NTTデータ株式会社 【共創パートナー】前橋工科大学 【共催】国土交通省
【後援】群馬県・群馬県バス協会・群馬県タクシー協会・群馬大学・群馬県立女子大学
群馬県立県民健康科学大学・高崎経済大学・共愛学園前橋国際大学・上毛新聞社
FMGUNMA・まえばしCITYエフエム・群馬テレビ・のりのり学会
交通からまちづくりを考える会 前橋・上毛電鉄友の会・わたらせ渓谷鉄道市民協議会

申込〆切
12/14



新たな価値を 創造する 都市デザイン シンポジウム

過度な車依存社会、都市構造のスプロール化、中心市街地のにぎわい喪失等の社会課題を抱える前橋市において、今後の都市政策をどのようにデザインするか皆で考える機会とする。

特に、「めぶく」のビジョンのもと官民連携まちづくりや公共交通再生に向けた交通まちづくりが進められている中、新たな価値を創造する都市のコミュニティ空間の在り方など議論する。

12月20日(水)

令和5年

18:00 ~ 20:00 (開場 17:30)

前橋市総合福祉会館 2階多目的ホール

前橋市日吉町 2-17-10

交通
ア
ク
セ
ス

- ・前橋駅北口第6乗り場 [北 51・北 53 系統]
→ 永井バス「小坂子・荻窪公園行き」乗車
→ 「総合福祉会館前」下車 (約 9 分)
- ・マイバス北循環「総合福祉会館前」下車

第1部 基調講演 18:05 ~ 18:50

「都市計画と地域交通の新たな都市デザイン」

《講演者》森本 章倫 (早稲田大学教授 創造理工学部社会環境工学科)

第2部 パネルディスカッション 18:55 ~ 20:00

「基調講演を受けての前橋市の事例と考え方」

「ウォークアブル推進とコミュニティ、デザインの在り方等」

《パネリスト》予定 / 順不同

石井 繁紀 (前橋商工会議所まちづくり専門委員会副委員長)

日下田 伸 (前橋デザインコミッション企画局長)

森本 章倫 (早稲田大学教授 創造理工学部社会環境工学科)

山本 龍 (前橋市長)

《コーディネーター》

森田 哲夫 (前橋工科大学教授 工学部社会環境工学科)

会場・オンライン
事前申込はこちら

締切：12月19日

二次元コード作
成中のため後日
完成したものを
配布いたします

参加無料

会場参加
定員 140名

(空き状況により)
当日参加可

問い合わせ先

前橋市都市計画課

都市施設係

Tel.027-898-6944